

特集

消防署の一日



大交代 (ひきつぎ)

朝8時30分に仕事を交代します。車両を点検し、前日の出来事等の申し送りをして異常がないかを点検し引き継ぎます。



消防署の勤務時間は朝8時30分から次の日の朝8時30分までの24時間です。消防署の1日は交代から始まります。

消防署の主な仕事は、火災・救助・救急出動です。

しかし、常に出動している訳ではありません。出動時以外の消防署はどんなことをしているの？

そんな素朴な疑問をきっかけに、「消防署の一日」、取材してみました。

業務開始

その日の勤務責任者が消防隊、救急隊などの編成や今日1日のスケジュール等を伝えます。災害に対する戦術などを話し合い火災などの災害を最小限に食止められるようにミーティングをします。



無線の試験

無線は、指令室と消防車両とを連絡する大切な設備です。毎朝8時40分から消防車両との試験通信をします。



立入検査

- ・ 建物の状況や消火器、自動火災報知機などの消防設備の維持管理状況を検査します。
- ・ 通信指令台のデータ収集や市内の消火栓や防火水槽の場所の把握と点検のため、消防車両で確認を行います。
- ・ 事業所等へ訓練指導に行きます。

講習会の実施

事業所等へ出向いて救命講習会を開きます。



車両や資機材の点検

消防車両や消防資機材を綿密に点検し、いつでも使用できるようにしておきます。



仮眠 (22時から6時まで)

いつ災害が起こるかわからないのでみんな仮眠はせず、通信指令室に2時間ごとに交代して勤務しています。仮眠する時は出勤に備え活動服や救助服、救急服を着たまま寝ます。



夕食

当番制で若い隊員が献立を考えて作ります。大鍋で作った料理は家庭とはまた違った美味しさがあります。ちなみに取材日の献立はけんちんうどんとまぜご飯でした。



訓練

消防車両に積載してある資機材等の取り扱いや、消防ポンプの放水、あらゆる災害現場を想定した警防訓練や救急訓練などを繰り返し行い災害に備えます。



■「降下訓練」体験してみました！

高所からロープを使い、壁に沿って降りる訓練です。7メートルの高さからロープを調整しながら降りていくのですが、スムーズにできませんでした。でも、隊員の方はさすがです。あっという間に降りていってしまいました。

現場ではもちろん命綱もマットもありません。人の命を助けるため自分自身の危険も顧みず業務を遂行している皆さんに改めて感謝！



起床後

事務室や車庫、各消防車両の清掃をします。



事務処理

一日の書類のまとめをします。災害で出勤したときは活動記録表、火災で出勤したときは、火災調査報告書を作成します。

また、地図を広げ管内の防火水槽や消火栓、目標となる建物などを覚えます。



昼食

家から持ってきた弁当を食べたり、出前などを食べたりします。出勤で昼食が3時や4時になり冷えてしまった昼食を食べることもまれではではありません。

